

新年のご挨拶

情熱と挑戦の年、丙午（ひのえうま）を迎えるにあたり、心よりお祝い申し上げます。旧年中は格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。皆様のご支援により、弊社は多くの挑戦と成長の機会をいただきました。本年も社員一同、さらに一層の精進を重ね、新たな価値を創出し、皆様のお役に立てるよう努めてまいります。

自治体標準化への貢献

弊社が長年運用を担ってきた自治体様では、現在「システム標準化」という大きな事業が進行中です。本年は、その成功に向けて全力を尽くします。

社会の転換期と私たちの挑戦

標準化やモダナイゼーションの背景には、社会全体のデジタル化があります。生成AIの本格活用、クラウドの高度化、ゼロトラストをはじめとするセキュリティ強化など、自治体も企業も大きな転換期にあります。この激動の時代に、富士通四国インフォテックは、お客様のIT運用とDX推進に貢献するため、技術力・提案力・実現力のさらなる向上に努めています。

昨年の新しい挑戦

昨年は、複数の新しい取り組みをスタートしました。

- 中堅病院経営支援コンサル：医療事務データや運用分析データを経営に活用する実証を進行中。
- SAP Silver Partner活動：日本企業の生産性向上・経営改革への貢献を目指す。
- AI活用研究：ソリューション開発における確実性と効率性の両立を追求し、手応えを得ました。
本年もこれらをさらに進化させ、サービス化を加速します。

富士通Japanへの統合と地域への貢献

本年4月、弊社は富士通Japanへ（一部機能は富士通へ個別移管）統合します。これにより、全国規模の技術力と地域密着の強みを融合し、より迅速で高品質なサービスを提供します。私たちは「AIを使う側」から「AI時代を創る側」へと一步踏み出し、地域課題の解決と地方経済の持続的な発展に貢献してまいります。

58年の歩みと丙午の年に寄せて

1968年に高松で創業以来、58年間、お客様と共に歩み、挑み、成長してきました。皆様のご支援に心より感謝申し上げます。2026年は60年に一度の丙午の年。火の陽気を象徴するこの年は、情熱と行動力に満ち、挑戦に適した年とされています。私たちもこの勢いを力に変え、地域とともに未来を切り拓いてまいります。

富士通のパーソナル「イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていくこと」を胸に、皆様に幸せと笑顔をもたらす存在であり続けます。どうぞ本年も、そしてこれからも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとって幸多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

2026年1月1日
株式会社富士通四国インフォテック
代表取締役社長 竹岡ゆかり